

## 若竹剣道スポーツ少年団訪問（玉野市）

昭和43年、故三宅大五郎先生（剣道範士8段）を団長として発足した玉野剣道少年団。

その後、市内の少年団が次々と発足したことをうけ、昭和54年に新たな団体名で活動をスタート。51年の長きにわたり少年指導を行っている歴史と伝統ある「若竹剣道スポーツ少年団」に岡山県剣道連盟 普及委員会のメンバー5名（山本雄三、藤原尚章、岸本安正、藤土靖浩、遠藤公介）が道場訪問ということでお邪魔させて頂きました。

当日は梅雨前線の影響により、激しい雨が降ったにも関わらず、20名近くの指導者参加のもと、普段通りの稽古が始まった。基本重視で子供たちに親切、丁寧に指導を行っている若竹剣道スポーツ少年団。その代表であり、また玉野剣道連盟会長である織田 輝雄先生（剣道教士7段）にお話を聞きました。

### ★織田 輝雄先生の言葉

水曜日と日曜日の週2回、玉野市立玉小学校体育館で稽古を行っています。現在、団員数25名（中学生9名含む）、指導者25名で活動を行っています。ピーク時と比較すると団員数は半減以下となっています。団員を増やすために、玉野市内の小学校の了解を得て「出前剣道教室」的な活動を年数回行っています。

今の若い方は我慢することができない、すぐに投げやりになる等、良く耳にしますが、剣道を通じて目標に向かってやりぬく心を大切に、人の気持ちがわかるような大人になってほしいと思っています。

また、団員、保護者、指導者の3者がそれぞれの立場で感謝、辛抱、優しさを学び、人として成長することを目標に、今後も継続して剣道に携わっていきたいと思います。

今日はおいで下さり、有難うございました。





### ★保護者より

剣道を始めさせたきっかけについてお話を聞いてみた。

子供の同級生が剣道をしていたため、父親が剣道経験者で苦しい稽古が社会に出て役に立ったので子供にもさせた、子供がよく棒を振り回して遊んでいたのがきっかけで入団した等、剣道を始めたきっかけは様々であった。

入団後はたくましくなった、礼儀が身についた、早起きするようになった等の声が聞かれた。



### ★むすびに

当日、大雨の中、ご対応頂きました先生方、保護者の皆様に感謝申し上げますとともに、若竹剣道スポーツ少年団の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

大変お世話になり有難うございました。

